病院に関わる人すべての幸せを願う。

すずらん

suzuran

2019.7
vol.28

外来待合室水槽：ハリセンボン

■目次

理事長挨拶 ／ 医局 新体制について……P2

新任挨拶……P3

新規採用者研修／入職式……P4

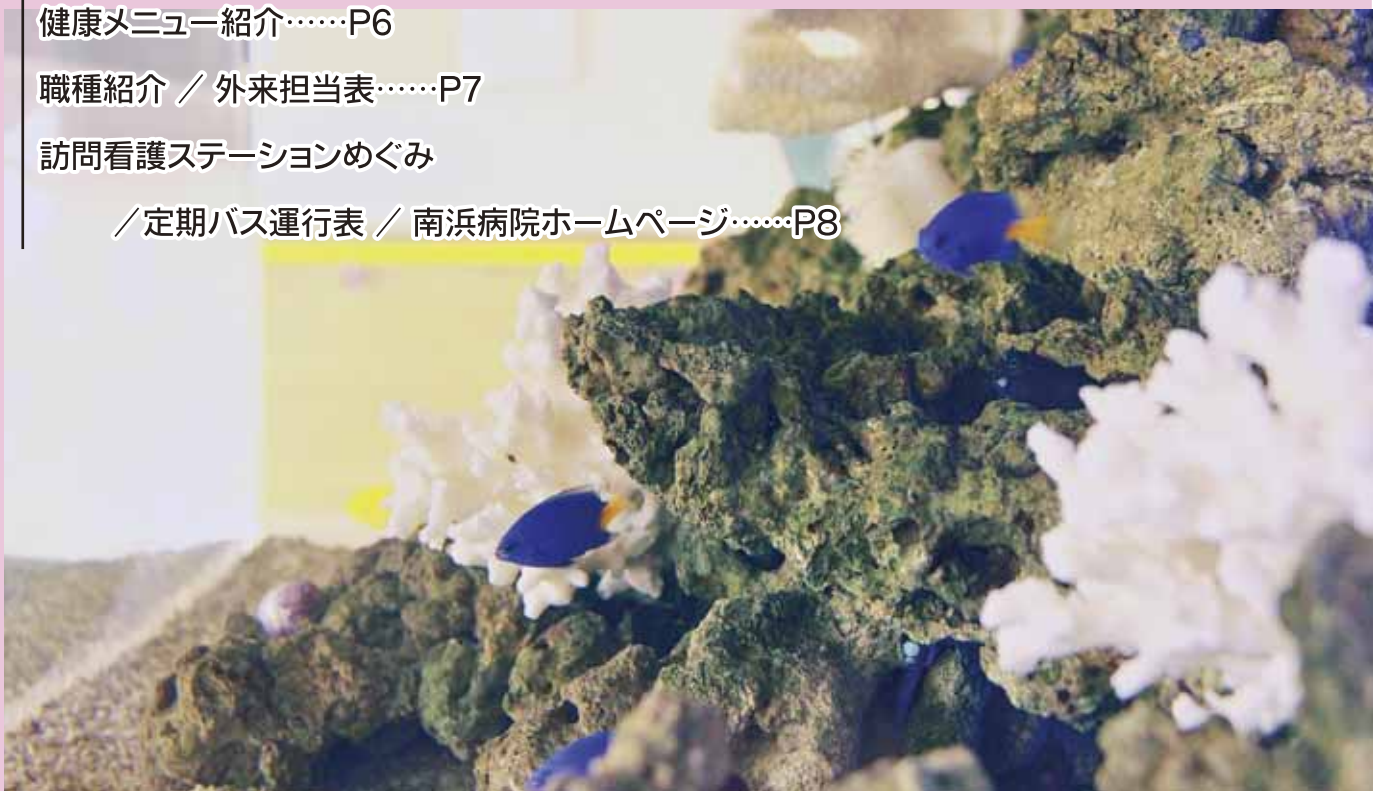
こころの病気や健康のあれこれ!……P5

健康メニュー紹介……P6

職種紹介 ／ 外来担当表……P7

訪問看護ステーションめぐみ

／定期バス運行表 ／ 南浜病院ホームページ……P8



働きやすい病院を目指して

くるみん認定企業の表彰を受けて

理事長　鈴木　好文

4月26日に新潟労働局で、厚生労働省新潟県労働局長の井上　仁様から次世代育成支援対策推進法にもとづいた「くるみん認定企業」の認定書交付式に出席してきました。これは厚生労働大臣が認定するもので企業として大変栄誉あるものです。職場を代表して大変感激のなかで表彰状をいただいてきました。

「くるみん認定企業」をいただくには、育児休暇取得が女性では100％、男性で1名以上であること、子供の看護休暇取得を1名以上にするなど厳しい条件を満たすことです。その上に労働時間をしっかりと守り、有給休暇が取得しやすい環境づくり、そして子育て支援のために保育施設を設置していることが条件です。南浜病院は職員240名で、比較的若い女性が多い職場環境のなかでこの条件をすべてクリアしたのです。

表彰のあとで直接、井上労働局長から「くるみん認定企業」になった企業は優良企業がほとんどでそのなかで病院は稀です。それは医療業界が人手不足の上、病気が相手ですから予測できない労働環境のなかでなかなか出来ないことと思っておりましたが、大変なご苦労をされたのではないでしょうか。今後も働きやすい環境を維持するために努力を続けて欲しいなど有難いお言葉を頂きました。

渡された資料から、これまで県で「くるみん認定企業」を認定された企業は31か所で、それぞれ優良企業ですが、そのなかで2回以上認定された企業は南浜病院を入れて14か所です。

今後は「くるみん認定企業」として誇りをもって、ゆとりのある労働環境を維持できるよう運営して行きたいと思います。それには各部署の職員一人ひとりの協力なくしては出来ないことで、職員の皆さんが気持ちのゆとりを持ち、お互いに譲り合いのなかで業務が出来るよう努力して欲しいと思っております。

そして病院経営が厳しいなか、「病院に関わる人すべての幸せを願う」を心において運営をして行きたいと思っております。

医局　新体制について

医局長　熊田　智

平成から令和へと移り変わる時代の中で当院医局にも大きな変化がありました。

平成31年4月1日から金子院長、澁谷副院長、布川医長の3人が常勤医師として勤務を開始しました。様々な分野で経験豊富な精神科医師の増員は、病院職員や患者さまにとって心強く、純粋な補強・充実のみならず新たな病院発展へのきっかけとなる期待も持っています。鈴木理事長の内科医として身体合併症に対する迅速かつ適切な対応・診断の上で我々の精神科医療が成り立っています。

2名の医局事務員は医師の業務・その他調整等の多様なサポートを継続し、負担軽減に大きな役割を担っています。

当院は平成26年度から新潟県精神科救急システムにおける北圏域の精神科基幹病院の指定を受け、平成28年度から全室個室の精神科救急入院料病棟（スーパー救急病棟）60床を開設しています。近隣に限らず幅広い地域の精神科・心療内科クリニック、身体科から患者さまを紹介して頂いています。

今後も今まで以上により良い医療を提供し、患者さまとその家族の方々、地域の方々に貢献できるように全力で取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

精神保健指定医が８名になったことも質の高い精神科医療に繋がると考えます。

病院長就任のご挨拶

病院長　**金子　尚史**

平成31年4月より、病院長を拝命した金子尚史（なおし）と申します。

私は平成8年に新潟大学を卒業して同大学の精神医学教室に入局し、大学では主に統合失調症の分子遺伝学を研究していました。学外では松浜病院、県立精神医療センター、刈羽郡総合病院、県立小出病院、大島病院などに勤務しました。

南浜病院は、県内に2か所しかない精神科救急入院科病棟を有し、県内北圏域（燕市、弥彦村を除く下越地方、人口約120万人）内の自傷他害の恐れのある方の入院（措置入院）の約4割を引き受け、精神科救急当番は年間169日に上るなど（いずれも平成30年度）、圏域内の精神科救急の基幹病院として中核的な役割を果たすとともに、地域移行支援・退院促進や心理社会的治療にも力を入れてきました。

今後も職員の専門性の向上と協働体制の整備、病棟機能の分化と効果的な運用、地域の医療機関や関係機関との連携をさらに推し進め、「病院に関わる人すべての幸せを願う」の理念のもと、地域の精神科医療へ貢献するために精励恪勤する所存です。何卒よろしくお願いいたします。

副院長就任のご挨拶

副院長　**澁谷　雅子**

2019年4月より、副院長に就任した澁谷雅子と申します。幼少期は富山県で過ごしましたが、高校は上越の高田高校に進学し、平成13年に新潟大学医学部を卒業後、新潟大学精神医学教室に入局しました。これまで、新潟大学医歯学総合病院　精神科、厚生連　新潟医療センター（内科研修）、国立病院機構さいがた医療センター、医療法人恵愛会大島病院、医療法人青松会松浜病院など、県内のさまざまな病院に勤務させていただきました。また、新潟大学保健管理センター、医学部医学科総合医学教育センターで、産業医活動や大学生の相談業務に携わった経験もあります。

3月までは学生相談のゆったりしたペースで仕事をしていたので、4月から精神科救急の病院に来て、環境変化に戸惑うことも多いですが、これからひとつひとつの経験を大切に、微力ながら、地域の精神科救急医療に貢献できるよう努めたいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

新任のご挨拶

精神科医師　**布川　綾子**

2019年4月1日より南浜病院に着任いたしました。今回、広報誌にご挨拶のスペースをいただきましたので、簡単ではありますが自己紹介をしたいと思います。

私は新潟市中央区紫竹で生まれ育ちました。2001年に新潟大学精神医学教室に入局した後は、大学病院精神科のほか、旧新潟こばり病院内科、佐渡の厚生連真野みずほ病院、県立小出病院、西新潟中央病院、県立精神医療センター、三条市の大島病院に勤務し、様々な症例を経験させていただきました。また、各地の勤務を通じて、その地方特有の文化に触れることができたことも貴重な体験になりました。

新潟市内での勤務は8年振りです。公的機関との連携、他医療機関との関係性など新潟市の精神医療も以前と比べ変化していると思われます。ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、様々な面で皆様にご協力いただきながら、地域の精神医療に貢献できるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

平成31年度新規採用者研修

去る平成31年3月28日(木)・29日(金)の2日間に亘り、平成最後の新規採用者研修が開催されました。対象者は平成31年度新規採用者11名、及び平成30年度10月以降中途採用者11名の22名です。

当日はリクルートスーツで緊張した中、理事長挨拶から開始されました。

失敗を恐れず、まず一歩から前に進むよう話があり、心強い言葉に少し安堵しながら、真剣な表情で聞いていました。

管理者は自己紹介まで研修に参加し、各部署に配属される新人の表情も見ることができました。緊張しているなかでの自己紹介でしたが、和むような紹介もあり気持ちもほぐれる場面もありました。皆、しっかり自己紹介でき、時間通りに講義を始める事が出来ました。

精神科疾患の講師は川嶋副院長であり、質問に即座に返答して頂き、基礎的な疾患について事例を通して学ぶ事が出来ました。他の講義も分かりやすく、2日間で、沢山の学びを得て、南浜病院の一員として自覚が芽生え、精神科医療にかかわる従事者として意識を高める事が出来たと思います。

また、昼食は、当院で採用しているお弁当や病院食を提供し、紹介する事が出来ました。美味しいと評判は上々で、新人同士の交流も図れ、良きライバル・相談役となれると思います。

今後、開催される3ヶ月目研修、6ヶ月目研修等は、課題は色々ありますが、インターネット配信を組み合わせていく予定です。

目的に沿った研修が開催出来るよう、対象者からも意見を聞きながら企画・運営し、新人の成長に期待し、見守っていきたいです。

教育委員会　神田 由香里

平成31年度入職式

4月1日に平成31年度入職式が行われました。

当日は晴天に恵まれ、今年度は14名の職員を新たに迎えることが出来ました。

入職者代表者が「患者様の生活を支えられるよう、日々精進していきます。」と抱負を述べました。

みなさん緊張した面持ちでしたが、一日でも早く職場に慣れ今後活躍してくれることを期待しています。

こころの病気や健康のあれこれ！ No.1

テーマ：認知症

副院長　川嶋　義章

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりしたために、認識したり、記憶したり、判断したりする力が障害を受け、日常生活に支障が生じている状態を言います。年をとれば誰でも物忘れしやすいなど認知機能の低下が見られますが、正常ならば、物忘れの内容を言われれば思い出し、日常生活も何とか送ることができます。しかし認知症では、言われても思い出すことができず、さまざまな生活の支障（同じ買い物を何度もしてしまい気づかない、薬の管理ができなくなる、慣れた道で迷子になる）が持続します。

認知症を引き起こす代表的な病気には、脳の神経細胞がゆっくりと死んでいく「変性疾患」と呼ばれる病気（アルツハイマー型認知症、前頭・側頭葉型認知症、レビー小体型認知症など）や、脳梗塞、脳出血、脳動脈硬化などのために、神経の細胞に栄養や酸素が行き渡らなくなり、神経細胞が死んだり、神経のネットワークが壊れてしまう脳血管性認知症があります。

認知症は、現在、精神科だけでなく、神経内科、脳神経外科など様々な診療科で診ており、また内科や整形外科など、かかりつけ医も支援しています。神経内科や脳神経外科では、詳細な神経学的診察や脳画像診断が可能で、認知症の診断や鑑別診断に強みがあり、また精神科では、認知症の周辺症状である、行動心理症状（ＢＰＳＤ）への対応に強みがあります。

行動心理症状とは、物忘れ（認知症の中核症状）などにより、本人が生活上の困難にうまく適応できなくなり、さらに生活環境や周囲の人間関係、本人の性格傾向などが影響して、妄想や興奮・暴力、徘徊などの反応を起こすことを言います。実際の介護の現場では、物忘れ以上に、行動心理症状に悩まされることが多いと言われています。代表的な症状に、もの盗られ妄想があり、献身的に世話をしてくれている主たる介護者（嫁や娘など）が、自分の財布や通帳を盗った（実際は本人が片付けた場所を忘れただけ）と確信してしまいます。このような場合は、本人を責めず一緒に探してあげる、主たる介護者が本人と接する時間を少なくする（デイサービスやショートステイを利用する、介護者を交代する、一時的な入院）などの工夫が必要です。興奮や暴力も、どういう状況で起こっているのかを分析し、環境や対応を再検討することが大切です。慎重に薬物療法を行うこともあります。徘徊では、デイサービスや外出・散歩などを日々の生活にうまく組み込むなどの対策が有効な場合があります。いずれにしても、本人の気持ちに寄り添いながら、行動心理症状が起こる背景を考え、それに見合った関わりを心がける必要があります。

その他、認知症に合併しやすい病気として、せん妄があります。これは意識障害にさまざまな精神症状が重畳した状態で、注意散漫や不安、興奮、幻覚などの症状が急に出現し、時間帯によって良くなったり悪くなったりします。せん妄は、原因を除去し、適切な薬物療法を組み合わせることで回復します。

厚生労働省の調査では、認知症を持つ人は、２０１２年の調査で65歳以上の高齢者の７人に１人、２０２５年には５人に１人になると推計されています。今後も認知症は増え続けていくと予想されています。認知症を、地域全体で支えるような社会が望まれていると思います。

健康メニュー紹介 No.1

モロヘイヤとオクラのねばねば和え

当院では、
1日の塩分量を平均6.9gとし、おいしい減塩食に取組んでいます。

《材料》（1人分）

- オクラ ……20g
- モロヘイヤ ……15g
- しめじ ……5g

☆薄口しょうゆ ……0.5ml
☆塩 ……0.24g
☆だし汁 ……小さじ2

《下ごしらえ》

葉のみ茹でてしっかり水気を切る

ポイント

しっかり水気をとれば、その分味がしっかりつきます

《作り方》※かるしおレシピを参考にしています

①野菜を下茹でし、水を切る
②☆の調味料と野菜を和える（☆はポン酢でもOK）

柑橘類などに含まれる「クエン酸」にも塩味を引き立てる力があります。レモンを凍らせてすりおろせば簡単に絶品の香りをプラス

● オクラ

独特のぬめりはペクチンなどの食物繊維です。これらには、整腸作用やコレステロールを低下させる働きがあります。

オクラの栄養価

カルシウム、鉄、カロチン、ビタミンCなど

● モロヘイヤ

ネバネバ成分のムチンは、消化器の粘膜を保護して消化不良や食欲不振を防ぎます。
また、水分を吸収し胃や腸管を刺激することで、便秘改善を促し、コレステロールや血糖値の上昇を抑える働きがあるといわれています。

モロヘイヤの栄養価

βカロテン、ビタミンB、ビタミンCやカリウム、鉄などのミネラル、食物繊維など

職種紹介

モットー
“自分らしく”生きていくことを支えたい

坂下　正人　H28年入職

No1 看護師

■ 精神科看護ってどんなもの？

精神的健康について援助を必要としている人々に対し、個人の尊厳と権利擁護を基本理念として、専門的知識と技術を用い、自立性の回復を通して、その人らしい生活ができるように支援を行っています。病気によって一度は制限された生活を新たに取り戻していく。その過程を患者さんと共に考え見守り、支えていくことが精神科看護の役割だと思っています。

■ 精神科看護の魅力とは？

精神科看護の魅力は、患者さん一人ひとりが歩んできた人生に関わり、それぞれの希望に合わせた看護を考えていくことだと思います。対話を通して患者さんと真剣に向き合うことは労力が必要ですが、その手探り状態の中から看護を導き出していくことにやりがいを感じています。

■ 精神科看護師を目指す方へのメッセージ

臨床では様々な人生を歩んできた方々の“その人らしさ”に触れることができます。そうして自分自身の心のありようを見つめ直すことで、看護師も人として成長できることが精神科看護の醍醐味だと思います。

外来診療のご案内

診療科目　精神科
受付時間　午前９時～午後４時（予約制）
診察時間　午前９時00分～午後５時
休 診 日　土曜・日曜・祝祭日

外来予約（再来）専用

☎025-255-2131　平日（月曜日から金曜日）
受付時間：13:00から16:00

初診の受診相談・医療相談専用

☎025-255-2180　平日（月曜日から金曜日）　受付時間：9:30から16:00

■ 担当医

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
再来	澁谷 川嶋	川嶋	熊田 豊岡 新澤 布川	新澤	橋野 川嶋 澁谷	橋野 川嶋	金子 豊岡 熊田	橋野	鈴木(好) 新澤 布川	新澤
新患	澁谷 新澤		布川 熊田		澁谷 橋野		金子 豊岡		布川 川嶋	

すずらん
2019年7月発行 No. 28
発行／医療法人恵生会 南浜病院
編集／広報委員会 〒950-3102 新潟市北区島見町4540番地

訪問看護ステーションめぐみ

名　称　訪問看護ステーション **めぐみ**

住　所　新潟市北区石動1丁目16−4
（豊栄病院前、旧とよさかクリニック）

営業時間　9時00分から17時00分（土日、祝日は休業）

TEL　025−384−1880

訪問実施地域：北区、東区、中央区、江南区、秋葉区、新発田市、阿賀野市、聖籠町

定期バス運行表

＊土・日・祝日は運行いたしません。

無料

■北区巡回コース

	南浜病院 夜間出入口 デイケア棟玄関	松浜2丁目 バス停	武田整形外科	豊栄病院	豊栄駅 北口	ベイシア 北越銀行ATM クリーニング店近く	青木歯科付近	南浜病院
1便	8：45	—	—	—	9：05	—	—	9：20
2便	9：30	9：40	9：43	9：55	10：10	10：15	10：20	10：30
3便	11：00	11：10	11：13	11：25	11：35	11：40	11：45	11：55
4便	13：00	13：10	13：13	13：25	13：35	13：40	13：45	13：55
5便	15：40	15：55	—	—	16：10	—	—	17：05

■新潟駅発着コース

新潟駅前出発	8：00	南浜病院到着	8：40
南浜病院出発	17：05	新潟駅前到着	17：45

ホームページ

http://k-seikai.jp/

南浜病院　検索

スマートフォンからご覧いただけます

デイケアブログ、いなほ園ブログは
当院のホームページからご覧いただけます。

「子育てサポート企業」に認定され、
くるみんマークを取得しました

医療法人恵生会グループ

南浜病院
〒950-3102新潟市北区島見町4540番地
TEL025-255-2121　FAX025-255-3532

訪問看護ステーション　めぐみ
〒950-3327新潟市北区石動1丁目16-4
TEL025-384-1880　FAX025-384-1881

指定障害福祉サービス事業所　いなほ園
〒950-3102新潟市北区島見町4540番地
TE025-255-4434　FAX025-255-4435